

練馬労連ニュース

練馬区労働組合総連合

2015年1月3日 No. 165

住所：練馬区中村北 1-6-2 東京土建練馬支部会館 4階 TEL.033825-7146 FAX.03-3825-7117

(選挙特集号) ✉ nerima-roren@celery.ocn.jp <<部内資料>>

2015年、戦後・被爆70周年、仲間の団結と共同の力で「憲法守り」「要求実現」の年に！

あけましておめでとうございます

今年、戦後70周年！ 平和憲法は世界の宝！！

練馬労連議長 金田 安夫

練馬労連に結集される加盟組合の皆様、私たちの運動に協力、共同していただいている労働組合、民主団体、平和団体の皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年、戦後70周年を迎えます。わが国は20世紀の悲惨な戦争の歴史の反省にたち、アジアの人々をはじめ、世界の人々に、戦争の放棄を宣言し、「日本国憲法」を確定しました。日本国憲法は、制定されるまでに至る、第二次世界大戦(アジア太平洋戦争)をはじめ、人類の歴史における幾多の出来事の教訓を踏まえ、平和と人権を尊ぶ人類史上最高の憲法です。わが国の戦後の復興と経済発展は、労働者や国民の前向きな努力と平和憲法をもつわが国への世界の人々の期待と信頼があってこそその発展でした。

安倍自公政権は、憲法の改悪に向け、秘密保護法、集団的自衛権の容認をはじめ、次々と暴走政治を進めてきました。そして、戦後の自民党政権がそうであったようにアメリカや財界の利益優先、国民への負担増の政策を続け、アベノミクスの行き詰まりと消費税の増税の延期に追い込まれ、突然の解散総選挙に踏み切りました。昨年末の衆議院選挙では、史上最低の投票率の中、自公政権が3分の2の議席を維持する危険な結果となりました。しかし、沖縄では、新基地反対を掲げた「オール沖縄」の候補が全員当選し、第3極と呼ばれた野党が議席を減らす中で、自公政権と対峙する日本共産党が躍進したことで、安倍政権への国民の批判の大きさも示されました。

今年も、安倍政権の憲法の改悪、労働法制の改悪や安倍教育再生、消費税の増税、原発再稼働、TPP参加など、国民や子どもたちの未来を脅かす政策を転換させる運動をさらに大きく広げなければなりません。そして今年も、日本国憲法の価値を改めてより多くの人々に知らせ、広めようではありませんか。日本国憲法が生かされ、労働者の働く権利と暮らしや命を守り、平和で国民が真に大切にされる社会にするために、今できることを、力を合わせ共にごがんばりましょう。新しい年が、皆様にとって幸多き、素晴らしい一年になりますように。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



2015年・練馬労連・新春のつとめ(旗びらき)のご案内

日時 1月23日(金) 午後6時半～ 場所 東京土建練馬支部会館

会費 男性 2000円 女性・若者 1000円

*各労組から「労組の自己紹介」+「一芸(出し物)」を披露してください。

*団体芸でも個人芸でもいいです。優秀賞には豪華景品がおくられます。

被ばく70周年…「NPT再検討会議」へ戦争のない・核兵器のない世界へ向けて羽ばたく年に！

2015年は被ばく70周年、国連では核兵器の廃絶へ向けた「核軍縮会議」が行われるなど、核の廃絶へ向けた国際的な動きが大きくなります。練馬原水協の栗原会長から一文を寄せていただきました。

練馬被爆者の会へ「お見舞い金贈呈の会」開催

12月17日、練馬区役所で練馬原水協が例年行っている練馬被爆者の会との懇談と年末見舞金を贈るつどいを開催しました。練馬の原水禁運動は長い歴史の中で被ばく者との連帯を深めてきました。

練馬原水協は毎年、加盟団体がちひろカレンダーを販売し、その利益募金を被ばく者に贈っています。

被爆者のみなさんから被爆体験が各々はなされました。その中で「あのようなおごいことは二度と起こしてはならない。戦争は犯罪だ」と異口同音に話されました。

安倍政権により「戦争する国づくり」が進んでいます。非核、憲法9条が輝く日本をつくる。2015年、今年の広島・長崎被爆70年、4月は国連総会、核不拡散条約(NPT)再検討会議で核兵器のない世界の運動を前進させるため全力をあげることを誓いました。



核兵器の人的影響に関する会議(オーストリア政府主催)…日本政府の態度に失望

2014年12月8日～9日「第三回核兵器の人的影響に関する会議」核兵器の廃絶に向けたゆるぎない国際世論に対して日本政府代表は「現在の厳しい国際安全保障環境を考慮すれば、効果的で検証可能、不可逆的な核軍縮の達成に近道はない」と主張し、核兵器禁止条約には触れませんでした。被爆国である日本の消極姿勢に対して各国の反核・平和団体から「まるで核保有国の言い分だ」など失望の声が聞かれました。

第7回「練馬なんでも相談会」

寒さの中、22人が相談に…「希望もお金もない」

「希望もない、お金もない…」相談が22件

12月19日、7回目を迎える「練馬なんでも相談会」が平成つづじ公園で開催され、練馬社保協が主催し多くの団体の協力で行いました。今回は天気も良く相談日和の一日でした。相談者は22人で、相談員や宣伝隊で52人が参加しました。

内訳は医療相談が4件、76歳の男性には「大泉生協病院の無料低額診療。身障者手帳の取得」を紹介する医療スタッフのコメントに「希望もない。金もない…」という相談者。法律相談では「遺産相続問題」など。

やはり、老後の問題や介護問題が多く「一人暮らしで心配だ」「1人で自分の老後が心配だ」「両親が病気だが、地方に暮らしている」「妻が入院しているが次の受け入れ先を探すのが大変」税金相談も多く来りました。



当日は練馬駅周辺で宣伝を行いその場からそのまま相談会会場に来る人もいたなど、深刻な生活実態が浮かびあがりました。

東京土建練馬支部・お餅も満足…「ご近所交流のつとい」盛大に

12月14日に東京土建練馬支部は日頃の感謝をこめて「ご近所・交流のつとい」を行いました。餅つきや出店などが会場の駐車場に所狭しと並びました。メインステージでは沖縄民謡が歌い・踊りが盛り上げました。

練馬労連は例年の「やきそば」「やきイカ」を担当しました。JALの争議団も物品販売を行いながら、裁判支援の署名にも取り組みました。

当日は衆議院選の投票日とも重なり、参加者の出足が心配されましたが、約450人が来場しました。



2014. 12. 5 ねりま教育集会 200名の参加を得て大成功に終わる！

三上満さんの講演「いま ほんとうの教育をもとめて」に感動と共感の輪が広がり、
教職員、保護者、区民など、様々な立場の方から力強い発言が続く!!

突然の衆議院議員選挙を控えた12月5日(金)夜、ねりま教育集会が開かれました。安倍政権が進める「教育改革」の中で、「道徳心を培う」「公共の精神に基づき、社会の発展に寄与する」「我が国と郷土を愛する態度を養う」ことを主眼に据えた国民づくりが強引に進められる中での大変意義のある集会になりました。当日は200名近い参加者で会場が埋まり、「今の教育の現状」や「ほんとうの教育が目指すべきもの」を柱にした三上満さんの講演で始まりました。「教育を政治の道具にしてはならない」「今の教育改革は、すべて政権党がこんなふうにしたら支配しやすくなるとか、大企業が使いやすい労働力を育てるとか、戦争をしようとする国へ進めようとしたときに動員しやすい心根を持った人にしたい、という考えから持ち込まれてきている。」と、道徳の教科化の問題点やほんとうの教育を取り戻すために大切にしなければならないことが、温かく、



熱く、鋭く語られました。講演の後にいった参加者からの発言も途切れることなく続きました。発言は今の学校現場の状況、教育制度への危機感、子どもたちが置かれている現状など様々でしたが、どれも今の教育の現状を危惧し、何とかしていきたいという思いに溢れたものでした。

第47回衆議院議員選挙の結果について

《全労連の談話・要旨》

昨日投開票された第47回衆議院議員選挙で、自民党は追加公認を含め291議席、公明党を含む与党で326議席と、引き続き3分の2の議席を維持した。しかし、これをもって安倍政権の政策が信任を受けたとは到底いえない。

い。…絶対得票率は17.4%であり、6人に1人の支持に過ぎない。各種世論調査でも、消費税増税や集団的自衛権、原発再稼働など個別課題では反対が6~7割に達している。看板政策のアベノミクスについても、最近では成功していないという意見が多数を占めるようになってきている。

にもかかわらず、与党が3分の2の議席を維持したのは、突然の総選挙で、しかも、消費税率10%の1年半先送りという争点のわかりにくさにくわえて、小選挙区制の弊害を強く指摘せねばならない。実際、自民党は小選挙区で今回、48%の得票率で76%の議席を獲得している。また、政権選択選挙というマスコミ報道もあいまって、多くの有権者、とくに若者や無党派層が投票に躊躇したためでもある。投票率は52.7%に止まり、前回からさらに6.7ポイントも低下して、戦後最低を更新した。日本の民主主義という観点からも由々しき事態である。

…自共対決を掲げた共産党が政権批判の一定の受け皿となって議席を大きく伸ばし2.6倍化したこと、オール沖縄の候補が全員勝利し沖縄の小選挙区で自民党の議席がなくなったことなどは、部分的ではあるが、今後にいさる貴重な教訓である。つまり、今回の総選挙で問われたのは、安倍「暴走」政治に対抗する姿勢にほかならない。なかば自民党の補完勢力となった第3極の離合集散などの混乱や共産党の躍進をわけた分水嶺もそこにある。また、安倍「暴走」政治への批判がひろがっているもとの、沖縄の選挙結果からは、一点共闘をさらに発展させ、切実な

要求と地域に強く根ざせば地殻変動的な変化が起こり得ることが読み取れる。

全労連は、…切実な要求を掲げ、「選挙に行って安倍暴走政治にノーの審判を」を合言葉に、要求選挙を展開してきた。

しかし、総選挙で安倍政権が3分の2の議席を確保したもとの、戦争する国づくりや原発再稼働、働く人々や庶民、地域社会を犠牲にした世界で一番グローバル大企業が活動しやすい国づくりなど、「暴走」政治が今後いっそう乱暴に加速されることが懸念される。また、自民党の総選挙公約に明記されたように9条など明文改憲の策動が強まることも確実である。暮らしと日本社会の未来が脅かされる重大な事態である。全労連は切実な要求を基礎に各分野で国民的な共同をさらに徹底して強化していく決意である。…賃金底上げによる内需活性化などとともに、来春のいっせい地方選挙を契機にしつつ、住民本位の地方自治確立のために力を尽くしていく。

2014年12月15日

全国労働組合総連合 事務局長 井上 久

《練馬区内の投票結果》

選挙区 9 区		
すがわら一秀(自民党)	123368 票	51.4%
木内たかたね(維新の党)	65809 票	27.42%
原純子(日本共産党)	50861 票	21.19%
比例 9 区		
自由民主党	76301 票	31.52%
日本共産党	38570 票	15.93%
維新の党	37795 票	15.61%
民主党	35708 票	14.75%
公明党	29377 票	12.14%
次世代の党	9204 票	3.80%

選挙区 10 区		
小池ゆり子(自民党)	36078 票	51.73%
えばた貴子(民主党)	16887 票	24.22%
今秀子(日本共産党)	10318 票	14.80%
たがや亮(生活の党)	3388 票	4.86%
比例 10 区		
自由民主党	23216 票	33.09%
民主党	11825 票	16.86%
日本共産党	10307 票	14.69%
維新の党	9362 票	13.34%
公明党	7705 票	10.98%
次世代の党	3364 票	4.79%

《練馬労連・当面の予定》

- 1/8 練馬労連常任幹事会+四役 午後6時半～
- 1/9 東京土建練馬支部旗びらき ココネリ
- 1/14 練馬春闘共闘総会 午後6時半～ 勤ぶく会館
- 1/22 自治体キャラバン 午後1時半～ ココネリ
- 1/27 東京春闘決起集会 午後6時半～ 中野ゼロホール

